

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

「保育園」の 入園申請を 受け付けします

〈提出期限及び提出先〉

一月三十一日(金)

役場社会福祉課

〈入園施設〉

東部保育園・西川口保育園

上川保育園・田麦山保育園

※申請書は、役場窓口及び各

保育園にあります。

不明の点は社会福祉課にお問

いあわせください。

川口郵便局で 年賀はがきの 投かん式

年賀ハガキの取扱いが始まった十五日に、田麦山保育園年長組九人による年賀ハガキの「初投かん」が行なわれた。年々、年賀ハガキの差し出しが遅くなるので、郵便局では元旦に配達できなくなると心配している。「年賀ハガキを早めに書いてほしい」との郵便局の願いです。



▶投かん式に参加した園児のみなさん

お知らせ

役場業務は
四月からすべての
土曜日が休みとな
ります

なお、保育園やキャンパス川口、文化会館、福祉センター等の施設は従来通りです。町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

新年祝賀交歓会 の御案内

あけまして

おめでとございます

町主催による正月の年始を次により開催いたします。町民の皆さんから多数ご出席くださるようご案内申し上げます。

●日時

一月二日

午前十時～十一時

●場所

町総合福祉センター

●主催 川口町

東川口地区より初冬の魚野川、信濃川を望む (12月中旬撮影)



消費税の確定申告
(1月1日～3月31日)

人口	6,371人	平成4年12月20日現在
男	3,115人	
女	3,256人	
世帯数	1,521戸	

あけまして おめでとうございます

おもな 内容	年頭のごあいさつ.....	2～3	町議会12月定例会.....	10～11
	狛江わんぱく駅伝で活躍.....	5	かわぐち、昨年のできごと.....	12～15
	新春を迎えて、各界の皆さん.....	6～8	役場人事.....	16
	みんなのコーナー.....	9	お知らせコーナー.....	17～18

年頭のごあいさつ



川口町長
青柳 弘

平成五年の初春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年中は、町政の各分野にわたりまして、何かとご指導ご協力を賜りましたことに、まず心から厚く御礼を申し上げます。

激動する 社会経済情勢

さて、世界は今「新たな政治」、「新たな経済秩序」の形成に向けて、激動と転換を重ねながら「二十一世紀への新たな歴史の扉」を開こうと懸命の努力を重ねております。しかしながら、その「転機」となった大きな要因は、すべ

て「経済運営」の失敗からであつたと思ひます。即ち、ソビエト連邦の崩壊もブッシュ大統領の退陣も、すべて経済運営の先行き不透明さが大きな要因であつたと思ひます。

「経済運営」の重要さが全てに優先することを、世界に示しておることを認識しなければならぬと思ひます。

また、国内におきましても、バブル経済の崩壊によりまして、日本経済は大きな岐路に立たされ、「経済の構造」そのものにも、メスを入れなければならぬなど、後年度に大きな不安要素を抱える多難な年であつたと思ひます。

下水道整備、産業振興、高齢化対策などの大型プロジェクトが順調に推移

こうした、内外ともに激動する社会経済情勢の中でありましたが、当町におきましては、当初計画いたしました各般の事業が、いずれも予定どおり順調な進展を見ておりまして、また一歩前進をすることができた年であつたと思ひます。

即ち、「定住構想の条件整備」の最大のプロジェクトであります「公共下水道事業」及び「農村集落排水事業」などの生活関連施設整備事業は、極めて順調に進展を見ておりますほか、林野庁主管の「特用林産地地形成総合対策事業」、農林水産省主管の「先進的農業生産総合推進対策事業」、厚生省主管の「高齢者生活福祉センター建設事業」及び「市町村保健センター建設事業」などの大型事業をはじめ、各分野の事業がいずれも順調な形で推移いたしております。

減税政策と 経費節減

また、昨年は、一昨年の「固定資産税」の「税率」を、百分の一・四の最底の「標準税率」に引き下げ、念願の百分の一・八より一億円の減税に成功いたしましたところでありましたが、また、昨年は、「法人税率」も最低の「標準税率」百分の十二・三に引き下げ、一千万円の減税をすることができたところでもあります。

さらに、「国民健康保険料」につきましても、一昨年五％の引き下げを行い、一千万円の減税となったものであります。昨年は、職員一人を減員することによりまして、六百五十万円の経費の節減を図つたところでもあります。

このように、当町の「減税政策」は、予定どおりすべて最低の「標準税率」となりましたことは、大きな喜びであります。これもひとえに、町民の皆様方の温かいご指導とご協力の賜でありまして、心から厚く御礼を申し上げます。

中山間地域活性化総合整備事業（大型プロジェクト）の導入をはじめ数多くの新規事業が採択の見通し

さて、新年度の大型プロジェクトの審査が始まっております。農林水産省主管の「中山間地域活性化総合整備事業」は、全国で三十カ所、団体営事業では、県内ただ一つの極めて貴重な事業をいただくことに成功いたしました。これにより、当町がまた一段と大きく飛躍するものと信じております。

また、六省庁主管の、地方拠点都市地域のメンバーに、追加承認をいただきましたことによりまして、公共事業や工場誘致の優遇制度等、定住促進に大きく寄与するものと期待をいたしております。その他、公民館の建設や荒谷・木沢地域の水道事業など、数多くの新規事業が採択の見通しとなっております。

このように、極めて厳しい社会経済環境の中で、「健全財政を堅持」しながら各分野に目標を上回る成果を収めることが出来得ましたことも、ひとえに、皆様方の温かい御理解とご協力によるものでありまして、心から厚く御礼を申し上げます。

私は、平成五年の新春を迎えるにあたり、皆様方より寄せられました期待にお応えするため、思いを新たに、全力を尽くして町政の遂行にあたる決意であります。

ご案内のとおり、我が国は今国際社会の中で、経済大国としての責任を追求される厳しい局面に加えまして、「人口の高齢化」、「価値観の多様化」、「高度情報化社会への移行」など、まさに歴史の変革期に突入いたしております。私は、いつも申し上げておりますが、「時代は今歴史の大きな変革のうねりの中にある」と、いうことであります。時代が変わろうとするとき、その変動をいち早く察知して、自らの意識の改革を行わないかぎり、新しい時代に対応することはできないと思ひます。



今日よりすばらしい明日を築くために

私は、今日の社会経済環境の中で、我が親愛なる川口町が、二十一世紀への歩みを確かなものとするためには、常に行政の「刷新合理化」を図り、「自主的」、「創造的」行政を展開しなければならぬと考えております。

私は、「今日より素晴らしい明日を築く」ために、時代の推移を見きわめ「発想の転換」を図り、皆様方の理解と協力を

いただきながら、「人間性豊かな調和のとれた活力のある温かい町づくり」のために、精魂を打ち込む所存でありまして、変らない友情と厳しいご指導を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

年頭にあたり、皆様方の限りな御繁栄と御健康を心よりお祈り申し上げます。ごあいさついたします。

新年のごあいさつ



川口町議会議長

古田 島 博 英

平成五年の新春を迎えるにあたり、謹んで町民の皆様へ新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、ガットの新多角的貿易交渉やパブル経済の崩壊、政治不信等々、国内を揺がした出来事は、国民に不安と憤りを与えた年でもありました。

生活本位の

行政の確立

さて、激動する社会変貌の中で、生活本位の行政を確立するため、国の持つ権限を市町村等に移譲し、地方の自主性、自立性を生かして地域活性化に結びつけようという、地方分権特例制度が検討されていると言われており、末端自

治体に課せられる使命は、愈々重大となり、特に住民と密着している町議会の果さなければならぬ役割は、一層増大してくると認識しているところであります。

地域づくりに向けた新たな ファイトを持って

また、今日程、生活関連施設の整備、福祉施策の推進等極めて重要な行政を総合的に積極的に推進してゆくことが強く求められています。こうした中で、当町は今、公共下水道事業、農業集落排水事業をはじめ、産業振興、高齢化対策などを積極的に進めているところであり、特に、

高齢者生産活動施設によるお年寄りの生きがい対策をはじめ、近くオープンする高齢者生活福祉センターの建設など、時代に対応する基盤づくりに、懸命にご努力されており、ことに感謝申し上げます。このころであります。また、このとき、地方拠点都市整備法に基づき長岡地方拠点都市地域に、当町も加わることができ、生活関連施設をはじめとした公共事業等の推進が大きく期待されると共に、今後、地方が自ら考え自ら行い、これを国が支援するという基本的な姿勢の中で、地域づくりに新たなファイトを持って取り組まなければならないと考えます。

そして、明るく豊かさを実感できる明日を築き上げるため、町議会は不断の努力を尽くす所存でありますので、今後共、ご支援ご指導賜わりますようお願い申し上げます。年頭にあたり、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。ごあいさつといたします。

迎春

川口町議会



- 議長 古田島博英
- 副議長 堀沢哲男
- 議員 覚張定一
- 星野幸夫
- 角張喜一郎
- 丸山聖浄
- 金子武
- 岡村清
- 渡部庄平
- 覚張精三郎
- 関弘蔵
- 星野重雄
- 山田宗一郎
- 内山五作
- 綱昭博
- 小西勝平



ふるさと友好都市



狛江わんぱく駅伝で 初めて優勝カップを手

親子で親善交流

とのない新人だけの出場で、なるべく多くの児童が体験できるように事業を進めています。

男子は一位と四位 女子は三年連続一位

選手たちは大会前日にバスで出発し、狛江でコースの下

今年で六回目

二十四人が参加

このわんぱく駅伝は狛江市青年会議所が主催し、友好都市の交流が始った年に招待をうけたのがきっかけで、その後毎年参加して今回で六回目となります。

出場したのは町内各校から選ばれた男子二チーム、女子一チームの二十四人、三年から六年までの学年二人の選手が下級生から上級生へとたすきをつなぐ方式の一チーム八人編成、これまで参加したこ



▲よろこびの「若鮎チーム」



▲女子一位の「若竹チーム」



▲健闘した「青葉チーム」

見を行って狛江市内に一泊。コースは市のほぼ全域を一周する約十三キロ、交通量の多い大通りをさけて住宅街の小路や多摩川の堤防の上など全区間とも起伏の少ない平坦地ばかり、川口とは感じの違ったコースを選手たちは都会の子どもにまじって元気のよい走りを見せ、堂々と実力を発揮してくれました。

初めての 優勝カップ

川口勢は前半から上位をしめる力走でリードし、男子は

若鮎チームが優勝をかざり青葉チームも四位と健闘、女子は抜群の強さで三年連続の優勝をはたしました。この大会で川口勢は毎年上位をしめる実力を持ち、男子も過去に優勝をしています。その時はオザーバー参加で優勝カップを手にする事ができず、今会の優勝で初めあカップを持ち帰ることに、選手は大喜びをしています。

今回は選手の家族六十人が上京して応援をつとめ、親子で親善交流を盛りあげることができました。

わんぱく駅伝参加選手 (発走順)

区間	学年	かわぐち若鮎		かわぐち青葉		かわぐち若竹	
1区	3年	小林 晶	川口小	白井正人	泉水小	関 恵梨子	川口小
2区	〃	関 久志	〃	森山智浩	田麦山小	水落布美子	田麦山小
3区	4年	小野塚純一	〃	阿部国浩	泉水小	喜多村有希	川口小
4区	〃	渡辺友明	〃	桜井佳史	田麦山小	丸山泰佳	泉水小
5区	5年	渡辺純吾	〃	星野 豊	木沢小	佐藤教子	川口小
6区	〃	関 広知	〃	綱 友巳	泉水小	内山ゆり子	田麦山小
7区	6年	喜多村拓巳	〃	佐藤健太郎	田麦山小	樋口幸子	泉水小
8区	〃	平沢 篤	〃	井出 恵一	泉水小	星野麻美子	川口小

新春を迎えて 各界の皆さん

新年あけましておめでとうございます。一年の計は元日にありといわれませんが、皆様それぞれ新しい計画を立て、心を新たに出发されたのではないでしうか。

閑話



田麦山小学校 校長 上杉光雄 さん

正月には、昨年も今年もきまつて「おめでとーございませ」とお互いに挨拶を交わす。これは元旦の「仕来たり」である。もつとも、こういふならわしも正月に限らず生活の中から影が薄れてきつつあ

を容赦なく吹き抜けていく。その中にいくつかの気になることを残しながら吹き去る。もう以前のことになるが、教育関係の雑誌かなにかで目にしたことだが、今でも鮮明に残っていることがある。

「家庭にあつては親は子どもを恐れ、教室にあつては教師は生徒の機嫌をとり、生徒は先生を軽蔑し、社会にあつては年長者は若者から頭が固いと云われるのを恐れ……」

これは、今から二、五〇〇年前の古代ギリシャの社会像をプラトンが語ったもので、ギリシャはその後間もなくマケドニアに滅ぼされてしまう。明日のどこかの国の姿でなければよいが。一の記事。教育や子どもについての問題、だれかが、どこかで考えてくれるだろうではなく、みんながそれぞれの立場で真剣に考えていくべきことではな

目標と決意



信越工業(株) 常務取締役 山下孝正 さん

あけましておめでとうございます。当社では、毎年十二月には全社員に「今年の反省と来年の目標、決意」なるものを提出していただいております。

最初の頃は、大変に嫌がりましたが、年数を重ねていくうちに、その内容も大変に立派なものとなってきました。「一年の計は元日にあり」ということは分っているものですが、それを考え実践する

わしたいものと思う。多少、固くなりつつある頭の新春の眩きである。バブルの弾けた激動の中で迎えた年、今年であるが元氣な子ども達と共に仕事に取り組みたい。



幹部の皆さんには、「人生目標計画表」なるものを提出していただいておりますが、五年後、十年後の自分、家族の年令を記入し、こうありたい、こうしてみたい、また夢のよ

当社では、毎月一日を「初心の日」と定めています。全員が、常に初心に戻り、自分の掲げた目標、決意に向けて努力し、健康で心豊かな毎日であつて欲しいと願う次第です。

今後の商工業振興についての助言も賜り、商工会事業にも前向きにご指導・ご協力をいただける約束をいただけたことと喜んでおります。微力な私ですが、商工会長

新年を迎えるの抱負



川口町商工会 専務理事 中林 茂 さん

平成五年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。私は、昭和五十九年五月に川口町商工会理事に選任され

三年間、そして昭和六十二年五月から現在の専務理事として約五年間努めて参りました。約八年間の間にいろいろな行事や出来事がありました。最近の大きな行事としましては、平成二年十一月に商工会創立三十周年記念大会を町の総合福祉センターで盛大に開催したこと、平成二年八月から商工会報「ふれあい」の発行を開始したこと、また、平成元年には商工会婦人部の

師走を迎えた夜に、カン高い気合いのこもった可愛い掛声がひびく、町総合福祉センター体育館一杯に、ところ狭しとばかり、豆剣士の練習が始まる。毎年四月から十二月まで毎週水曜日、町内各小学校、中学校の児童生徒が一堂に集まり、剣道の練習に余念がない。川口町スポーツ少年剣士会が発足して既に十六年余の歳月が過ぎて数多くの少年剣



川口町剣道会 会長 関 登代一 さん

少年剣士の意気盛ん

士が巣立っている。高校に進学し、有段者となった生徒もおり、また毎年実施される二市三郡の少年剣道大会にも参加するまでに上達し、意気増々盛んである。今日こここで我が川口町スポーツ少年剣士会の発展に、寄与された指導者の努力を忘れる事が出来ない。会の発足当初は、高野正己先生がボランティアで指導の面で活躍され、最近では、堀之内町出身の山田正人氏を中心に、貝之沢の宮優子さんが全面的に指導の任に当り感謝されている。川口町剣道会には指導者不足の面があり、郡剣道連盟から派遣された山田正人氏に全面的に頼っている状態で、町在住の指導者が協力参加さ

される事を願っている。剣道も近年増々盛んとなり近隣町村とも小、中学生の希望者により、剣士会をつくり練習を重ね、ほとんどの高校には正規の部会があり本格的に部活動が実施され日本一を目指して努力されている。剣道は古来より、「禮に始まり禮に終る」と言われている。

冷めたい板張りの体育館で素足でびたりと正座し、正しい挨拶から練習が始まる。皆



産地化形成を

めざして



田麦山きのこ生産組合 内山洋一さん

んな真面目である。一生懸命に若鮎の如く場内一杯にはねる。心身共に健康となり、やがて次代の川口町の新しい手となって行くであろう。此の子等の頭上に新春の光が燦々と輝き、幸多かれと願うものである。剣道の技もさること

乍ら、何よりも心の正しい優しい勇気のある人間に成長してもらいたい。剣道は常にその心を教えている。新年四月より新しい生徒も加わり一層少年剣士の意気も盛んになる事と期待し、少年剣士と共に新年を祝いたい。

な製品を大量にもっている産地が生き残り、そうでないところは減退の一途をたどるかと思われまます。

そんな情勢の中で我々川口町きのこ部会では「えのききこ〇〇万本計画」と銘打って町当局、農協と一丸となって特

製品のえのき茸の産地化に取り組んでいます。八六〇トンの出荷量で四億五千万円の販売高を目標に掲げ、各生産組合とも達成に向けて規模拡大と品質の向上に取り組んでいます。

一口に規模拡大と言いましても簡単にはできません。それにかかわる多額な設備投資、労働力の確保、資材原材料の仕入れ等々……。頭を悩ま

されることも少なくありません。しかしながら、機械の進歩や栽培システムの省力化により労働力の削減や、コスト低減等につとめ頑張っています。

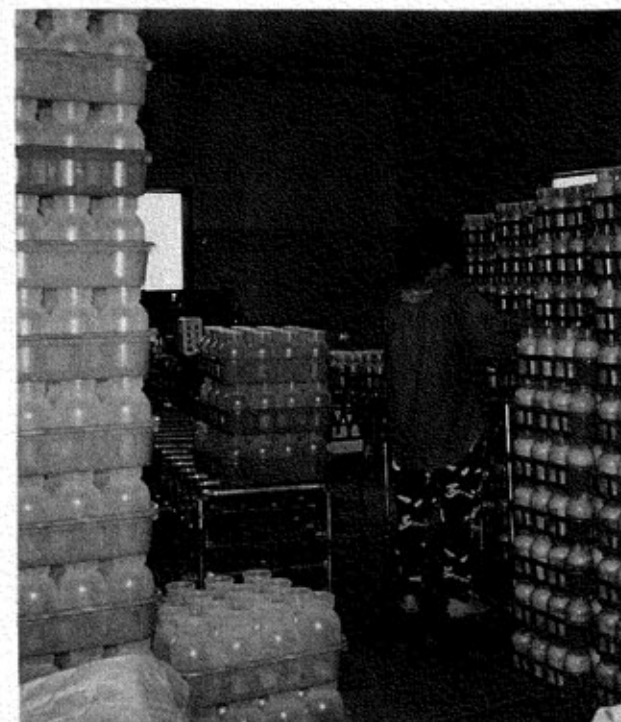
えのき茸栽培は農業というよりもどちらかというと工業に近い部類に属するのではな

いかと思います。えのき茸の場合は完全な施設栽培です。完璧な空調設備を備え、近代的な生産機械を使い、企業的な感覚で経営を行って行く訳です。当然設備投資が多くな

される訳です。

さて、近隣の代表的な産地では十日町と塩沢があります。特に十日町では毎年のように新規生産者が誕生し、規模拡大も一層進んでいます。また、先進地の長野県では一頃ほどではありませんが脱サラでえのき茸栽培を始めたと言う話もかく耳にしました。

我が川口町は残念ながら当法人を最後に新規生産者は生まれず、部会と協力し充実した産地を造るためにこれからも一生懸命頑張っていくつもりです。



ふるさと友好 狛江市⇄川口町

新年俳句交歓

狛江市のお三人は有名俳誌の同人の方々です。

私も老人クラブを中心にした川口俳壇の常連です。

夫婦老い言葉少く初笑 狛江市 大林治女
ビル毎の大門松も茅場町 同 同
四つ目垣膝ほどに結び実万両 同 同
眠らんと多摩の横山かすみけり 同 同
夕づきて初富士肩をおとしけり 同 同

仲見世の賑はひぬけて初句会 池田子釣
初日の出拝し言ふことなかりけり 同 同
四天門潜りてよりの淑気かな 同 同
風の径あり枯芦を鳴らしけり 同 同
霜解けの土の匂へる日向かな 同 同

門前の水ほとばしる去年今年 畠山征宇
香煙をたっぶり浴びし初詣 同 同
句心を籠めて葎を打ちにけり 同 同
夫打ちし妻の炊きたる菘粥 同 同
裸木の膚ぬくもりし日和かな 同 同

日を受けて喪明きし年の福寿草 喜多村キヨ
初茜をさなきうたのチャイム鳴り 川口東部 星野一夢
新年や肌着なりとも新らしく 星野きの

忘年会うたは自慢の北の宿 大野若葉
移る世に鞠まつりを忘れずに 内藤一峰
年賀状忘れるし人なつかしく 関よし
初雪のなせかあたたかなつかしく 三輪京子
元朝や越後三山かがやきて 平沢静雲
初雪に青竹重く腰かがめ 平沢かおる
お社の鈴鳴りやまぬお元日 喜多村 暁
かたことの言葉のふえし初電話 上村たつお
退職でする事なくて小正月 覚張次郎
それぞれ孫にひ孫にお年玉 喜多村イマ
鏡餅松に鶴舞ふ軸を掛け 大淵きのみ
門松に雪のかかりてとりの年 星野淳作
二年参りいつもの顔の揃いけり 木沢 星野智恵子
世の中の解らぬままに年迎ふ 荒谷 宮 ミヨ
新玉の心浄めて筆を執る 宮 ヨキ
初詣母の笑顔のいつまでも 丸山静流
年の夜の孫達の皆大人顔 西川口 星野七朗
初雀今年顔して降りたちぬ 小宮山トキ
出合川せせらぎ染めて初茜 小宮山ミチ
初雪にいよいよ色濃き黄菊かな 小西シゲノ
三山のすっきり登え今朝の春 山田 久子
正月はみんなない顔寒椿 山田 悦
お年玉貰いし頃がなつかしく 山田 マス
ねんねこの衿にかくれてねむり初 山田 マス
稜線は町のいらかや初茜 星野雪車
在東京

変らざる山河のままに年加ふ 丸山以外史
どつと来てどつと翔ちゆく初雀 内山松月
若水に身の引締まり墨をする 同
正月の家例というをかたくな 新宮山柴
移り住み此処川口で喜寿の春 同
またひとつ儲けの如き老の春 星野修庭史

新年俳句交歓

ふるさと友好都市狛江市の俳人と新年交歓を計画しましたところ、時間もすくないのにご協力頂き、まことに有難うございました。

狛江のお三方は句歴も古く若葉同人、岬同人として熱心に勉強しておられる方々です。正月のこたつの中で、ゆっくりと味わってみて下さい。雪の降らない武蔵野に住む人々の作品には、又ちがう新年や冬が感じられます。

わが町の老人クラブの俳句教室も十年になりました。狛江の方々には広報かわぐちをお送りしてみましたら、みなさんが、素直なよい句をつくっていられると、おほめの言葉を頂きました。

内藤一峰さんのふいご祭りの句の季節について。ふいご祭は十一月八日(旧歴)に鍛冶やさん、いもじやさん等ふいごを用いるところでは、仕事を休み、ふいごにメを張り、みみし餅酒などを供し、礼拝したとあります。今はこの行事も忘れられたようになったが作者は律義にこれを行っているという句。(星野修庭史)

町議会十一月定例会

完全週休二日制導入による 関係条例の一部改正など 原案どおり可決

町議会十二月定例会は十二月十八日、本会議を開き、完全週休二日制の導入、給与改正に伴う関係条例の一部改正、補正予算などを可決。また、収入役川上敏夫氏の辞任に伴う、収入役の選任について、満場一致で保科正紀氏を同意した。以下その概要に次のとおり。



◎議案第八十二号

川口町の休日定める条例の一部改正について

完全週休二日制の導入による所要の改正を行ったものです。これにより、町の行政機関は、原則としてこの四月一日から全ての土曜日が休みとなります。

◎議案第八十三号

川口町職員の勤務時間に関する条例の一部改正について
人事院勧告を受けて、国家公務員の給与が引き上げられたことに伴い、国家公務員の給与に準じて、町職員給与を平成四年四月一日にさかのぼって引き上げたものです。

◎議案第八十四号

川口町職員の給与に関する条例の一部改正について
人事院勧告を受けて、国家公務員の給与が引き上げられたことに伴い、国家公務員の給与に準じて、町職員給与を平成四年四月一日にさかのぼって引き上げたものです。

◎議案第八十五号

川口町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

町職員(一般職)に準じて、給与の引き上げを行ったものです。

◎議案第八十六号

川口町税条例の一部改正について

固定資産税の課税免除を行うものに、社団法人日本観光協会が所有する簡易宿泊施設を追加したものです。

◎議案第八十七号

川口町高齢者生活福祉センター設置及び管理に関する条例の制定について

高齢者生活福祉センターの建設に伴う、同センターの設置及び管理運営等について新たに定めたものです。

◎議案第八十八号

川口町工場等誘致条例の一部改正について

工場等の誘致を促進するための奨励措置による不均一課税の対象に、過疎地域活性化特別措置法の適用を受ける設備を加えたものです。

◎議案第八十九号

町道路線の認定について

◎議案第九十号

町道路線の変更について
居平天納線(大字相川)と越後川口インター線(大字西川口)について、それぞれの区間を延長し変更したものです。

◎議案第九十一号

平成四年度川口町一般会計補正予算(第三号)について
人事院勧告の実施による、町職員の給与改定及び災害復旧、学校施設改善、基金積立特別会計への繰出などに要する経費などについて追加補正を行ったものです。補正額は一億八千二百三十七万七千円。

◎議案第九十二号

平成四年度川口町国民健康保険特別会計補正予算(第二号)について
診療報酬、高額療養費及び給与改定等に要する経費などについて追加補正を行ったものです。補正額は一千九百一十二万二千元。

◎議案第九十三号

平成四年度川口町老人保健特別会計補正予算(第二号)について
医療費及び給与改定等に要する経費について追加補正を行ったものです。補正額は千五百五十万二千元。

◎議案第九十四号

平成四年度川口町簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)について
緊急作業車の購入、基金積立、給与改定等に要する経費などについて追加補正を行ったものです。補正額は七百三十七万五千円。

◎議案第九十五号

平成四年度川口町農業集落排水事業特別会計補正予算(第二号)について
事業費の配分変更による所要経費の調整等により、一億二千九十三万二千元の減額補正を行ったものです。

◎議案第九十六号

平成四年度川口町公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)について
流域下水道負担金に要する経費などの追加補正を行ったものです。補正額は七百六十四万一千円。

◎議案第九十七号

平成四年度川口町ガス事業特別会計補正予算(第二号)について
流域下水道負担金に要する経費などの追加補正を行ったものです。補正額は七百六十四万一千円。

◎議案第九十八号

収入役川上敏夫氏の辞任による新収入役の選任について、議会の同意を求めたものです。新しい収入役に、前総務課長の保科正紀氏(五十二歳・牛ヶ島)が選任されました。

◎議案第九十九号

道路整備促進に関する意見書の提出について

◎議案第一百号

第四次土地改良長期計画の策定に関する意見書の提出について

◎請願第十四号

二兆円規模の所得減税を求める意見書採択に関する陳情

◎請願第十五号

米市場開放阻止に関する請願について

◎請願第十六号

以上発議案二件と請願(所得減税に係る請願除く)一件がそれぞれ決議、採択されました。

会計補正予算(第二号)について

原ガス購入、コイコンメーター取り付け及び給与改定等に要する経費などの追加補正を行ったものです。補正額は四百五十八万円。

◎議案第九十八号

川口町収入役の選任について

収入役川上敏夫氏の辞任による新収入役の選任について、議会の同意を求めたものです。新しい収入役に、前総務課長の保科正紀氏(五十二歳・牛ヶ島)が選任されました。

◎議案第九十九号

道路整備促進に関する意見書の提出について

◎議案第一百号

第四次土地改良長期計画の策定に関する意見書の提出について

◎請願第十四号

二兆円規模の所得減税を求める意見書採択に関する陳情

◎請願第十五号

米市場開放阻止に関する請願について

◎請願第十六号

以上発議案二件と請願(所得減税に係る請願除く)一件がそれぞれ決議、採択されました。

今年は何年

平成

五年は酉年です。十支の動物の中で、ただ一つの鳥類です。単に鳥というより、ニワトリ(鶏)を思い浮かべる人も多いようですが、ニワトリは人間と最もなじみ深い鳥といえます。

ニワトリ

ニワトリといえば卵——日本人が一年間に食べる卵の数は、一人当たり二百一十個です(世界鶏卵協議会・一九九一年発表)。これはイスラエルに次いで、世界第二位です。ニワトリには、随分お世話になっているわけですね。

ニワトリのルーツは、インド、スマトラなどのジャングルに住むヤケイ(野鶏)を改良したものとされています。それが、いまでは世界中のほとんどこで飼育されています。

人間

と縁の深いニワトリですが、最近はその姿を見かけることが少なくなりました。昔は農家の庭先などで飼われていて、文字通りの「ニワトリ」でした。しかし、現在では企業の養鶏が中心となり、ケージでえさや水を与えて飼っていることが多いので、「ハウトリ」などといわれています。

今年は何年。でも、初日に向かって時を告げる鳥の声を覚ますというのは、都会人にとっては無理なようです。



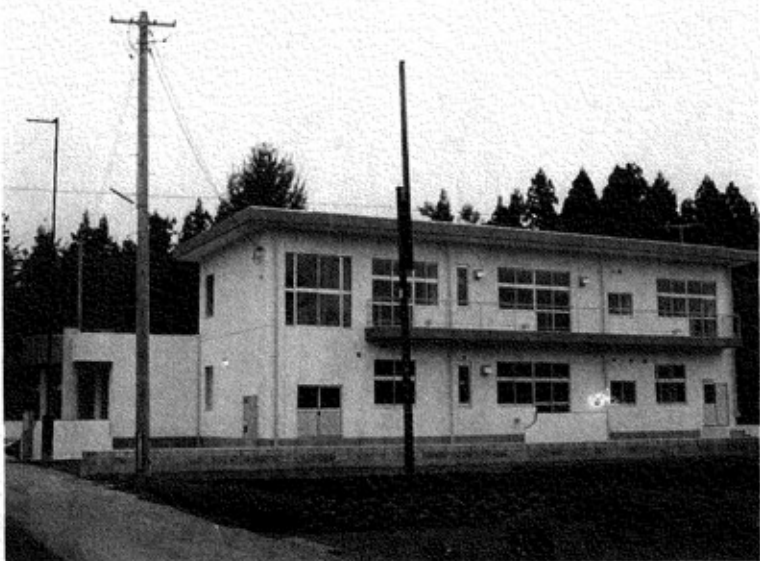
川口スキースクールのご案内

参加をお待ちしています

- ◆期日 平成5年2月21日(日)・28日(日)・又は3月7日(日)
- ◆会場 グリーンピア津南スキー場及び上越国際当間スキー場(予定)
- ◆主催 川口町公民館
- ◆主管 川口町スキー協会
- ◆講師 川口町スキー協会指導員
- ◆対象 一応滑れるが、もう少しうまくなりたい人で、小・中学生、一般を対象とします。なお小・中学生は子供同志でも参加できます。
- ◆定員 40名(定員になり次第締切ります)
- ◆参加料 1人 2000円(講習料他)
- ◆申込方法 2月6日(日)までに教育委員会へ電話で申し込み下さい。

☎89-3111 内線170・171

今日よりすばらしい明日を築くために



▲西川口保育園完成 4月1日から保育所から保育園に名称変更。これが完成により町内の保育施設整備成る。



▲新しい保育園でのびのびと。

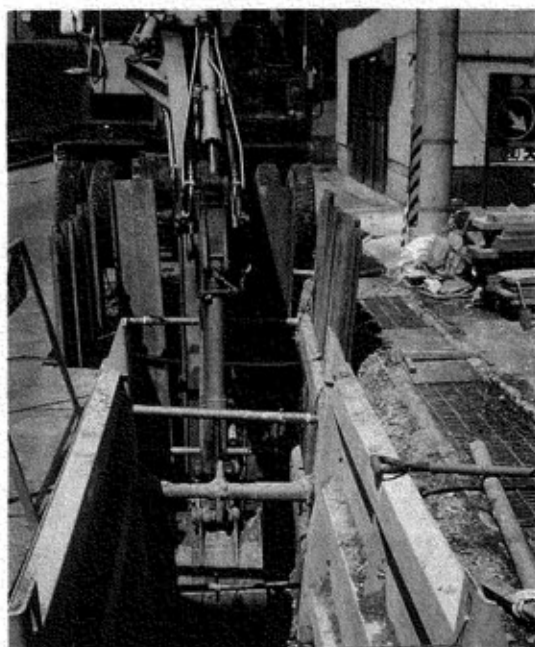
▼下水道整備

快適で文化的な生活にかかせない下水道整備。順調に工事が行われている。



▲高齢者生活福祉センター着工

まもなくオープン。ディサービス、居住施設に健康センターとしての機能も整えた福祉・健康の拠点。



かわぐち

昨年のできごと



▲「グリーンアスパラガス」



▼出荷作業に精をだすお年寄りのみなさん



▲「縄ひへん」



▲「モロヘイヤ」

▲高齢者生産活動施設完成

4月1日にオープンした高齢者生産活動施設は「集会所」「集出荷場」「生産加工施設」を備えた一石三鳥の施設。高齢者の就業の場、生きがい対策、雇用の拡大、そして地域農業の振興など農村地域活性化の拠点の一つとして大きな期待が寄せられている。



'92 町政日誌

一月

- 2・新年祝賀交歓会
- 21・古文書教室(3/23)
- 26・親子スキースクール(2/16)

二月

- 4・川口町の明日を創造する審議会総会
- 7・室内ゲートボール大会(28日まで)

三月

- 4・模範児童生徒表彰
- 21・農業集落排水事業受益者分担金に関する条例制定
- 27・新潟県農村アメニティコンクール表彰式

四月

- 1・過疎地域対策緊急措置法に基づく過疎地域に指定法人町民税の税率引き下げ
- 26・狛江市書道体験ツアー
- 27・西川口保育園完成

五月

- 1・高齢者生産活動施設オープン
- 7・中央簡易水道拡張計画策定
- 26・消防団新入団員・幹部訓練

六月

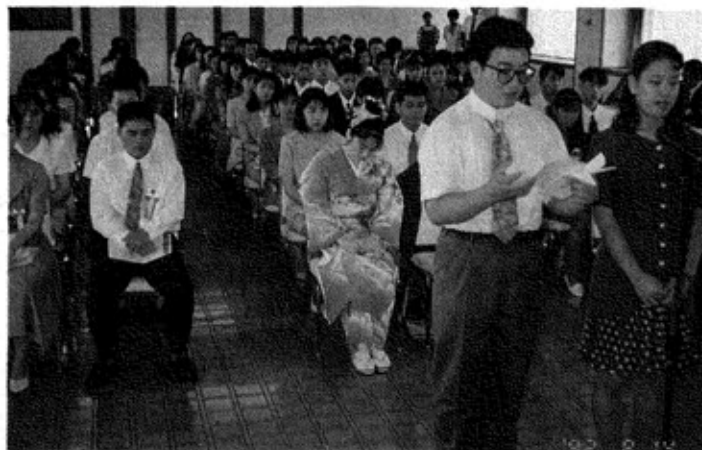
- 1・野球選手権大会(6/24)
- 18・町民ゲートボール大会
- 23・過疎地域活性化計画策定議決
- 25・老人福祉大会

七月

- 2・木沢焼窯あけ(10/22)
- 4・町民バレーボール大会(7/12)
- 5・町PTA研究大会



▲川口まつり 伝承行事「武者行列」に川口中女子生徒も熱演。ふるさとの祭は心を熱くする。



▲成人式 8月14日、都会で生活している帰省者も含め97人の成人が誕生。新しい人生の一步を踏み出しました。

▼田植ツアー 狛江市一行41人が来町



▼敬老会 長寿を祝う。



▼町民体育祭 スポーツの輪が大きく広がる。



▼農林水産振興まつり 活力ある農業の町づくりをめざして!!



▼「オートキャンプ場」



▲キャンパス川口「エントランス広場」全景

▼「ピクニック広場」



◀「ローリースケートロード」

▼「ファミリーゴルフ場」



▲滞在型家族旅行村 「キャンパス川口」

滞在型家族旅行村は平成2年9月正式にオープン、愛称はキャンパス川口。20有余の野外施設が整備され、昨年10月にはコテージが着工するなど、町の活性化に向けたリゾート施設。年々利用客は増大し、昨年は22万人を超えた。

- 5・町長杯町民野球大会 (9/22)
- 11・狛江市ほおずき市物産展
- 18・川口まつり
- 八月
- 1・町民プール開放(8/30)
- 2・町民ゴルフ大会
- ・町民登山(谷川岳)
- 4・テニス教室開設(8/18)
- 8・ふくろうウオーク
- 9・狛江市消防団幹部合宿訓練
- 14・成人式
- 22・狛江市少年野球チーム来町
- 23・町民体育祭
- 26・少年野球大会(8/27)
- 30・町消防団総合演習
- ・町民囲碁将棋大会
- 九月
- 6・町長杯少年野球大会
- 7・長寿者敬祝訪問
- 12・学校週五日制開始
- ・敬老会
- 18・高齢者生活福祉センター着工
- 26・狛江市稲刈ツアー来町
- 29・太極拳教室開設 (10/17)
- 十月
- 4・レディースゴルフ大会
- ・町民野球大会(10/18)
- ・練馬区民まつり参加
- 8・コテージ建設着工
- 9・川口町の明日を創造する審議会総会
- 10・町道中山竹田線(改良・舗装)全線完成
- 11・町民ゴルフ大会
- ・ふるさと川口塾開設
- 13・原始古代むら造成着工
- 14・町民ゲートボール大会
- 17・板橋区民まつり参加
- 18・農林水産振興まつり
- 28・川口中学校立志式
- 十一月
- 1・生涯学習フェスティバル (11/8)
- ・キャンパス川口(秋季ゴルフ大会)
- ・ゴミ分別収集スタート
- 3・町政功労者表彰式
- 14・狛江市民まつり参加
- 15・町民バレーボール大会
- 16・長岡地方拠点都市地域加入
- ・広域市町村圏見直し決定
- 22・狛江わんぱく駅伝参加
- 十二月
- 22・小中学校終業式

役場人事

収入役に

保科正紀氏就任

課長・係長級の一部異動発令

一月一日付け

町議会十二月定例会で、川上徹夫収入役の退職に伴う、収入役の選任が行われ、保科正紀氏(五十二歳・牛ヶ島)が、満場一致で同意され、一月一日付けで収入役に就任されました。任期は四年。

新しく収入役になった保科氏は、四十年に役場職員となり、これまで秘書室長、財政課長、総務課長を歴任。

これに伴い、一月一日付けで課長・係長級の一部異動が発令されました。

総務課
課長(指定課長昇格) 古田島正作(財政課長)
水道課 山田 功(農林課)
星野 正(下水道課長)

農林課
課長(指定課長昇格) 真島 淳(農林課長)

財政課
課長(指定課長昇格) 大淵 富一(土木課長)

企業課
課長心得(昇任) 阿部 義晴(下水道課参事)

土木課
課長心得 星野 征臣(企業課長心得)

総務課
参事(課長補佐事務取扱昇任) 大淵 公男(総務課長補佐)

下水道課
係長 山田 功(農林課)

※()内は旧所属等。

児童手当制度をご存知ですか?
 子育てが楽になる、子育てが楽しい
 児童手当の認定請求を忘れずおこなってください

児童手当制度をご存知ですか。これは、三歳未満の子どもの養育している人に支給されるもので、生活の安定と子どもたちの健全な育成、資質の向上を目的につくられた制度です。

子どもが生まれたら、出生届と一緒に、児童手当の認定請求も済ませましょう。認定後、申請した翌月分から支給されます。ただし、認定に当たっては、所得制限があります。

第二子以降の支給対象が
第一子からOK

ところで、児童手当制度は、平成四年一月に改正され、改正前とは支給対象や支給期間、支給金額が変わりましたので、その内容を詳しくみてみましょう。



毎年六月に提出が必要な
児童手当現況届

さて、いざ児童手当が支給されるようになった場合、忘れてはならない手続きがあります。毎年六月に提出する児童手当現況届です。

まず、第二子以降だった支給対象が第一子からの支給になりました。また、支給金額(月額)も改正後は第一子と第二子が五千円、第三子以降が一万円にそれぞれ引き上げられています。

ここでいう第何子とは、児童福祉法での児童、つまり十八未満の子どもの対象に数えます。

ですから、十七歳の兄弟が一人いる場合の三歳未満児は第二子になります。十八歳の兄弟が一人いる場合の三歳未満児は第一子となります。

さらに、改正前は小学校へ入学するまでだった支給期間が、改正後三歳未満となったことに對して、段階的に支給期間を改定する経過措置が施されています。

また、このほかにも手続きが必要となる場合があります。その主なものを以下に挙げます。

- ・引越など受給者または子どもの住所が変わるとき
- ・子どもが増えるなどして、手当の額が増えるとき
- ・手当の支給が変わるとき
- ・とかく子どもが生まれたときは、喜びいっぱいいろいろなことを忘れがちです。児童手当は、自動的に支給されるものではありませんので気を付けましょう。

詳しくは役場窓口(公務員の方は勤務先)にお問い合わせください。

美術展で
良い成績
国際交流ジュニア
美術展



世界十カ国が応募
泉水小児童が入賞

「新潟国際ジュニアピエンナーレ」、これは新潟県と県教育委員会、県文化振興財団、県国際交流協会が主催した児童生徒の国際交流美術展の名称です。

絵画、版画の制作を通じて世界の子どもたちがお互いの文化を理解し合い、友情と新たな交流の輪を広めるために今年初めて開催されたもので、応募参加国は日本をはじめアメリカ、ロシア、中国、韓国、ニュージーランド、オーストラリアなど十カ国におよび、応募は約四千七百点となっています。

審査は大賞、金賞、銀賞、優秀賞の四段階で、当町からは泉水小学校児童が優秀賞に

三人入賞しました。
入賞者は次のとおり。
絵画優秀賞(学年は前年)

一年	宮 明日香	泉水小
二年	星野 祐也	"
	井出 幸香	"

中越美術展では
特選に各校から入賞

第二十九回の中越教育美術展で、当町の小学校児童十二人の作品が特選に入賞しました。

中越美術展は中越美術教育研究会が主催、絵画、版画、デザインなどの三部門に県内全域から四万三千点が出品される大規模のもので、入賞基準は学年別に特別賞、特選、金銀銅賞、佳作となっています。入賞者は次のとおり。

絵画 特選
一年 丸山 貴大 泉水小
渡辺 夢大 "

県ジュニア美術展
九人が奨励賞に入る

第二十三回新潟県ジュニア美術展覧会の絵画の部で、当町の小学生九人の作品が奨励賞に入賞しました。

ジュニア展は県教育委員会、県美術教育連盟、新潟日報社などが主催する水準の高い美術展でジュニアの県展ともいわれ、絵画、版画、デザインなどの三部門で保育園児から中学生まで年令別に特賞、優秀賞、奨励賞の三段階に賞が決め、入賞の割合も厳しいものです。入賞者は次のとおり。

絵画奨励賞
三年 星野 寛美 川口小
喜多村 茜 "

二年	喜多村 唯	川口小
	石坂 秀樹	田麦山小
	森山 淳史	"
	渡辺 知子	"
三年	喜多村歩惟	川口小
四年	小宮山絃子	"
五年	内山ゆり子	田麦山小
六年	小西 実佳	川口小
四年	川上 恵	川口小
五年	山崎 淳	泉水小
	山田 幸枝	川口小
	山田 喜子	"
六年	小山 貴樹	川口小
	覚張 聡	"
	岡村 崇志	"

科学研究で
奨励賞

平成四年度の新潟県児童生徒科学研究発表会で、川口中学三年秋山恵さん、同星野直子さんの共同研究が奨励賞に入賞しました。

この発表会には夏休み中に取り組んだ自由研究を、地区の理科センターで予備審査を行い県で総合審査したもので、総数三百点の中から選ばれました。秋山さんと星野さんの二人は、「にんにくのにおい消しの方法」について研究し発表したもの。

奨学金貸与制度を
利用しませんか

町では学業に優れた健全な大学生で、経済的理由から修学に苦勞している人に奨学金を貸与する制度があり、その奨学生を募集しています。希望の方はご相談ください。

◆奨学生の資格
一年前から町内居住者で次に該当するもの。

①大学生又は短大生
平成五年度入学生又は在校生
②高専生で三年次終了者
③別に定める所得等の選考基準を満たす者

◆貸与予定人数 四名
◆奨学金の額 月額二万円
◆奨学金の利息 なし
◆貸与の期間 貸与決定の月から在学学校の最短修業年限まで
◆奨学金の返還 貸与終了から最長八年以内
◆保証人 二名
◆申請の期限 三月十日
◆申請時の必要書類
①住民票 ②成績証明書
③進学校合格証明書又は在学証明書
◆申請用紙、資料の請求、お問い合わせは教育委員会へ
☎ 091-321-1(内線3又は7)